

入試が活用、英語民間試験 受け比べた記者の感じた相性

山下知子 峯俊一平 2018年10月28日08時55分

シェア
0ツイート
[list](#)ブックマー
ウ

スクラップ

メール

印刷

続きから読む



英語の民間試験

2020年度から始まる「大学入学共通テスト」では英語の「読む・聞く・話す・書く」の4技能を測るため、民間試験が活用される。大学入試センターは計8種の試験の申請を認めたが、目的はビジネスや留学などバラバラ。点数を一つの基準で比較することを疑問視する声も少なくない。実際にどんな試験なのか。2人の記者が一部を受けてみた。

英語の民間試験

2020年度から始まる大学入学共通テストで英語の4技能を測るため、導入が決まった。現役生の場合は原則として高3の4～12月の間に2回まで受験する。成績は大学入試センターを通じて各大学に提供され、合否判定などに使われる。

同じ「英語の試験」でも、これだけ違うのか。TOEFL、ケンブリッジ英語検定

(Preliminary)、英検2級という三つの試験を受けた感想だ。日本の学校教育で英語を学んだ記者にとって、特に違いが大きかったのは「聞く」「話す」だった。

米国の大学などに留学する学生の英語力をみるTOEFLの場合、英語はハイレベルで学術的な内容。「聞く」の試験では、大学の講義や討論の場面が題材だったが、何の話をしているのか分からないままに答えを迫られた。

さらにてこずったのは、パソコンに向かってしゃべる「話す」。ある問題は大学教員が話した内容に対する意見を求められているという点は理解できたが、話の中身が分からず、答えようがなかった。「I'm sorry, I can't understand」と答え、うつむくしかなかった。試験前は「機械相手はやりづらい」と予想したが、この時ばかりは「機械で良かった」と思った。

英国で始まったケンブリッジ英検の特徴は「イギリス英語」。学校で習った「アメリカ英語」とはリズム感や発音が違う。テストで話すスピードも速い。「聞く」の問題ではイラストを見て天気の話だと分かり、「これなら大丈夫！」と思ったのもつかの間。全く聞き取れなかった。

「話す」は、複数の受験生が一緒に受ける形式で、他の受験生とのやり取りも求められる。試験官は2人の外国人で、1人とのやり取りを、もう1人が見ていた。視線は気になったが、記者が受けた時は、イラストを見ながら休日の過ごし方を議論する出題で、TOEFLの学術的な内容より易しかった。

この二つと比べ、英検の「聞く」は、慣れたリズムの英語。問題も、短い文章や会話を聞き、4択から正解を選ぶ形式で、答えられないままに進むことはなかった。試験開始前の説明が日本語という点がうれしく、それだけで安心感と余裕が生まれた。「話す」の試験は一对一形式。イラストの説明などを求められたが、手応えはあった。

さて、結果は。

大学入学共通テストで、民間試験の成績を評価するために使われる「欧州言語共通参照枠(CEFR〈セファール〉)」に落とし込むと、3種とも「B1」だった。ただ、4技能の評価にはばらつきがあった。

手応えがなかったTOEFLは「聞く」「話す」が「読む」「書く」より評価された。ケンブリッジ英検は「話す」「書く」で得点が高かった。一方、手応えを感じた英検の「話す」は不合格で、「読む」「聞く」で点数を稼いでいた。本当に「同じレベル」と判断されたか、釈然としない。

民間試験を実施する複数の団体によると「受験者によって相性がある」という。「同じ人間が複数の試験を受けて、CEFRがばらばらになる例もある」と明かされた。受験生はそんなことも気にしながら、試験を選ぶことになりそうだ。(山下知子)

際立つ試験の性格の違い

TOEICとGTECは、試験の性格の違いが際だった。

ビジネスで使う英語力を測るTOEICは、会社内での新規プロジェクトの提案や商談など、仕事を意識した題材が多い。「書く」の問題では、金融機関の新入社員の立場で、人事部からの「困ったことはないですか」というメールに返信を求められた。ビジネスメールの様式など、社会人としての「常識」も求められる。一方、高校生向けのGTECの題材は、大学の講義や学生同士の会話、教授からのメール、サークル勧誘などが中心だ。

両試験に共通したのは、「話す」と「書く」の試験は、パソコンを使って解答するという点だ。「話す」は英語の問題がヘッドホンから流れ、口元のマイクに向かって答えるため、採点者の様子は分からない。また、記者が「話す」の試験を終え、「書く」に進んでも、会場にいたほかの受験生はまだ「話す」の試験を受けていた。「書く」の問題を解いている間も周囲が話すことになり、多少気になった。

二つの試験は申し込み方法や試験前の本人確認の手段、試験会場の雰囲気なども違っていた。ただ、元々異なる目的で実施されており、こうした違いは当たり前とも言える。日常生活では、条件が異なる中、最も適切な選択肢を選ぶ力が必要な時がある。大学入試でも、「自分に最もあっている試験を選ぶ」力が問われているのかもしれない。

もっとも、記者の結果を「CEFR」に落とし込むと、どちらも「A2」。「読む」と「聞く」で点数を稼ぎ、「話す」と「書く」が厳しい評価という点も同じだった。考えていたほど、試験の違いは結果に影響しなかった。（峯俊一平）



〈英語の民間試験〉 2020年度から始まる大学入学共通テストで英語の4技能を測るため、導入が決まった。現役生の場合は原則として高3の4～12月の間に2回まで受験する。成績は大学入試センターを通じて各大学に提供され、合否判定などに使われる。受験料や年間回数、会場などが試験によって異なるため、住む地域や家庭の状況による格差が生じることも懸念されている。使用に慎重な大学は多く、東京大は9月、民間試験の提出を必須としない基本方針を公表した。



山下知子記者 1977年生まれ。記者になってからは、英語をほとんど使っていない。試験を受け、「英語力がピークだった高3の時に戻りたい」と感じた。



峯俊一平記者 1978年生まれ。最近は仕事で英語を使う機会もあるが、民間試験を受け、小学生の子どもから「お父さんは英語が苦手」と指摘された。

民間試験の結果の判断に使われる「CEFR」の6段階

熟練レベル（C2、C1）

自立レベル（B2、B1）

基礎段階（A2、A1）

=ブリティッシュ・カウンシルのHPから

関連ニュース

女性は眼科？生産性ない？どう生きろと？ 医大生の叫び
立ち会い出産、激写した夫が許せない 思いをぶつけた
抱っこで自転車、悲劇生んだ 子ども死亡、母を書類送検

トップニュース

朝日新聞デジタルのトップページへ

ドッカンバトルでチート、逮捕者も 課金「ずる」に快樂(11:50) 🔒

日系ビザ条件「監視されてるみたい」 韓国を選ぶ4世も(08:21) 🔒

身分証の束を指し「この男は死んだ」 密航業者語る実態(05:00) 🔒

「死ぬのは怖いが」命がけの旅路 豊かさ求める若者たち(11:36) 🔒

トランプ氏、死刑復活に言及 ユダヤ教礼拝所の乱射事件(09:00)

渡辺、日本選手2人目のNBA出場 04年の田臥以来(11:34)

「抱っこで自転車」危険わかっている朝の送迎、切実(09:30)

食べて吐く、繰り返した妻 「そこだけが逃げ場だった」



さよなら熱帯魚

注目の有料ニュース

天声人語 🔒 | 一覧

本庶氏の指摘「心外」 オブジーボ開発の小野薬品社長 🔒

「歴代会長 パソコン使えない」書き込みに経団連が当惑 🔒

おすすめ

災害INFO

災害への備えや、災害が起きたときに役立つ情報をまとめました

災害、そのときどうする 役立つ情報チェック